

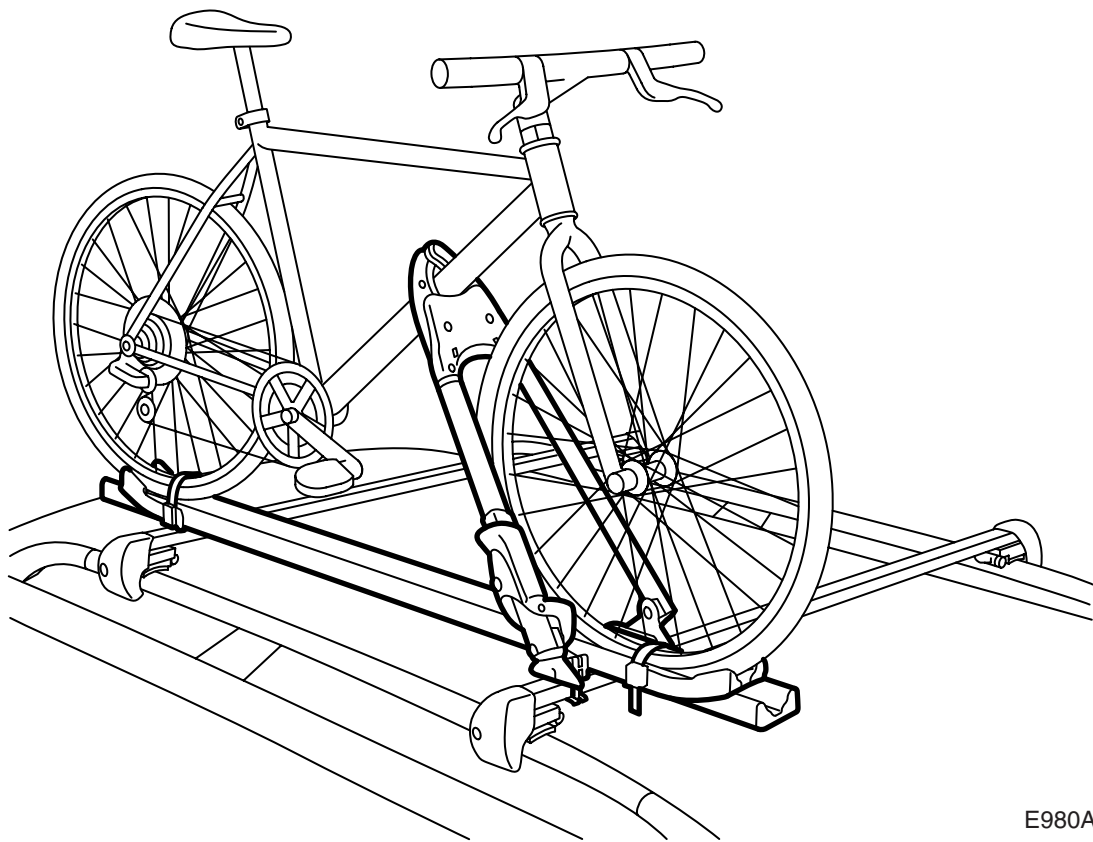


**MONTERINGSANVISNING · INSTALLATION INSTRUCTIONS  
MONTAGEANLEITUNG · INSTRUCTIONS DE MONTAGE**

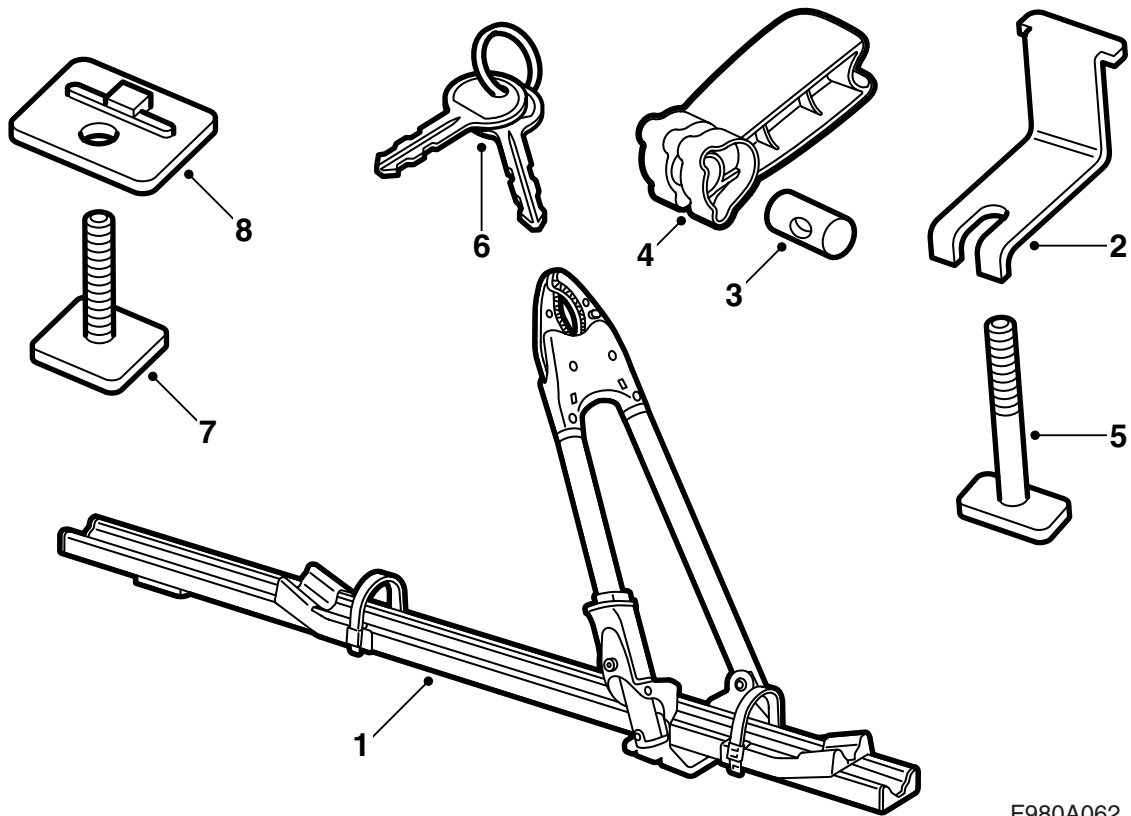
**Saab 9-3, Saab 9-5**

サイクルキャリア、ルーフ積載

Accessories Part No.	Group	Date	Instruction Part No.	Replaces
12 788 486 400 131 199	9:89-06	Apr 02	12 792 689 (55 20 788)	



E980A247



F980A062

- 1 サイクルキャリア
- 2 アンカーフック (x3)
- 3 アクスルナット (x3)
- 4 クランプハンドル (x3)
- 5 ボルト (x3)
- 6 キー (x2)
- 7 Tみぞボルト (x3)
- 8 プラスチックプレート (x3)

## 重要事項

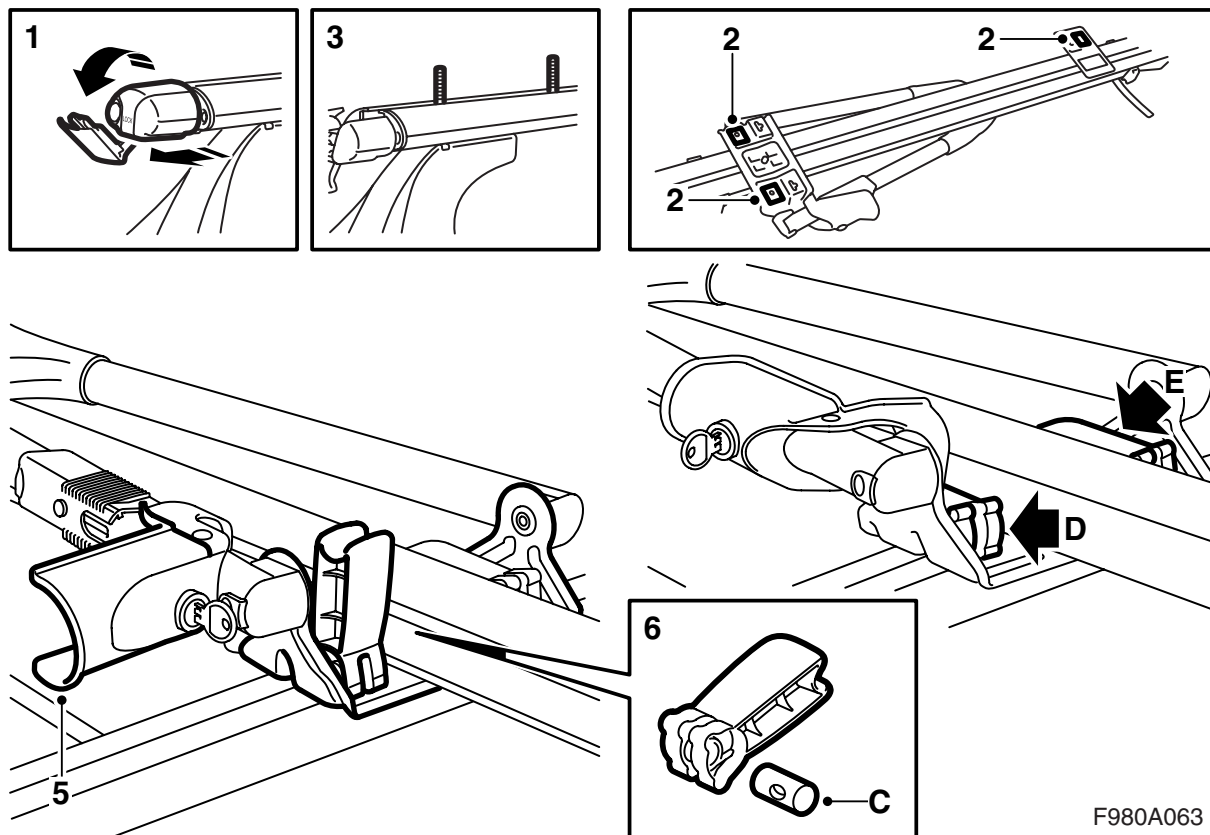
### 警告

サイクルキャリアを使用する前に、取付説明書を全て良く読んでおくこと。サイクルキャリアの取り付けは、この説明書に従ってのみ行い、この説明書は車に常備しておく必要がある。

ルーフに荷物を積載して走行する際には、積荷の重量および形状によって、車の重心および空力特性が変化する場合があるので、それを考慮して車速を調整すること。

車のルーフに配置する前に、例えば小児用座席やサイクリングバッグなど脱落の恐れがあるパーツを自転車から除去しておく。

- サイクルキャリアは、サイクルキャリアが正しい向きに配置され、正しく取り付けられているという前提において、安全な積載ができるように設計されている。**製品の改造は行ってはならない。**
- ルーフの許容最大積載量は、各ルーフレール重量の 3.9 kg (スチール製)、4.7 kg (アルミ製) およびサイクルキャリア重量の 3.8 kg を含めて 100 kg である。車のオーナーズマニュアルも参照のこと。
- 積荷の固定状態の確認を必ず行うこと。
- 自転車の積載に際しては、車両全高に特に留意すること。
- サイクルキャリアは、清掃および保守を行う必要があり、特に冬季には汚れや塩を除去しなければならない。ボルト、ナット、錠には定期的に潤滑を行わなければならない。
- 安全上の理由と省エネのために、使用しないときにはサイクルキャリアを外しておくべきである。
- 洗車機で車を洗う前には、各ルーフレールを外すこと。
- 取付説明書は車に常備しておく必要がある。
- **輸送安全対策**：自転車を取り付けしていない場合には、リアホイールホルダーを前方にスライドしてフレーム保持爪に被せる。ストラップを締め付ける。



F980A063

## Tみぞへの取り付け

- 1 ルーフレールの各エンドプラグを引き出し、プラグのセンター部分を下方に折曲げる。
- 2 各プラスチックプレートをサイクルキャリアの前部2箇所と後部にある1箇所の取付穴に取り付ける。各プレートは、フックを穴に挿入してから、プレートを所定位置に押し込むことにより取り付ける。
- 3 各Tみぞボルトは、2本をフロントルーフレールのみぞに、1本はリアルーフレールのみぞに挿入する。
- 4 サイクルキャリアをルーフに持ち上げ、前部2本のTみぞボルトをサイクルキャリアの前部2箇所のプラスチックプレートを取り付けた穴にはめ込む。サイクルキャリアを慎重に降ろして、リアルーフレールに配置する。
- 5 サイクルキャリアのフレーム保持爪用クランプを外側に倒す。
- 6 各クランプハンドルにアクスルナット (C) を押し込み、各フロントボルトにクランプハンドルを数回転ねじ込む。
- 7 各フロントクランプハンドル (D) のねじを締め付ける。各クランプハンドルを後方へ倒す (E)。

- 8 リアアンカープレートの長手方向の位置を調整し、後部Tみぞボルトにはめ込む。クランプハンドルのねじを締め付け、クランプハンドルを後方に倒す。



### 警告

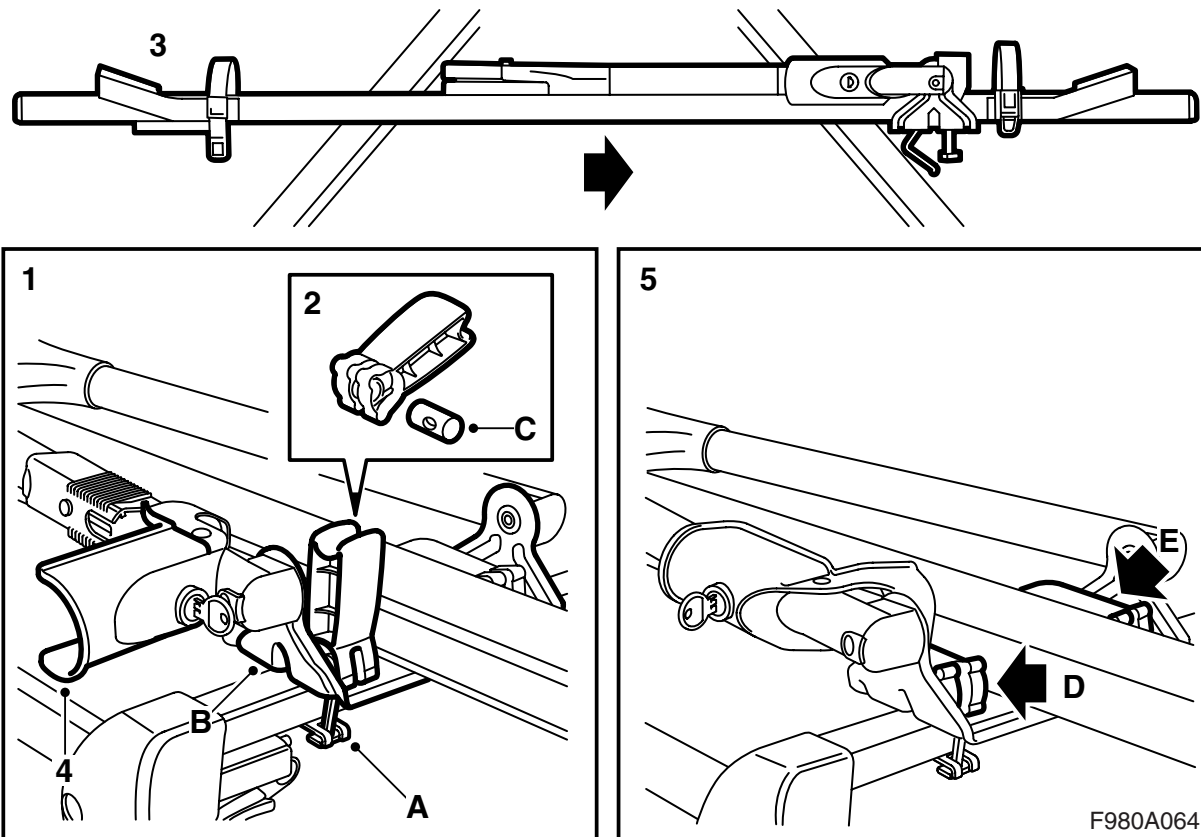
サイクルキャリアが、確実に固定されていることを確認する。

- 9 各ルーフレールの各エンドプラグのセンター部分を上方に曲げ戻し、各エンドプラグを押し込む。

**輸送安全対策：** 自転車を取り付けていない場合には、リアホイールホルダーを前方にスライドしてフレーム保持爪に被せる。ストラップを締め付ける。

## 重要事項

片方のフロントクランプハンドルを下に倒せるようにするためには、フレーム保持爪のロックハンドルが開位置になっていなければならない。



## 角パイプへの取り付け

- 1 各フックを前方へ傾けて各穴に降ろすことにより、アンカーフック (A) を各アンカープレート (B) の各後部穴にセットする。
- 2 各アックスナット (C) をそれぞれのクランプハンドルに押し込む。各アンカープレート (B) の各前部穴を介して各ボルトを上に通し、各クランプハンドルに数回転ねじ込む。  
リアアンカープレートについても手順 1 および 2 を繰り返す。
- 3 各アンカーフックが各ルーフレールの少々後方になるようにし、各クランプハンドルを前方に倒した状態で、サイクルキャリアをルーフに持ち上げる。前後のルーフレールに被さるようにサイクルキャリアを前方にスライドさせる。
- 4 サイクルキャリアのフレーム保持爪用クランプを外側に倒す。
- 5 それぞれのアンカーフックに各前部ボルトを引っかけて、しっかり固定する。各クランプハンドル (D) のねじを締め付ける。各クランプハンドルを後方に倒す (E)。

- 6 アンカーフックがルーフレール周囲にフィットするようにリアアンカープレートの長手方向の位置を調整し、アンカーフックにボルトを引っかける。クランプハンドルのねじを締め付け、クランプハンドルを後方に倒す。



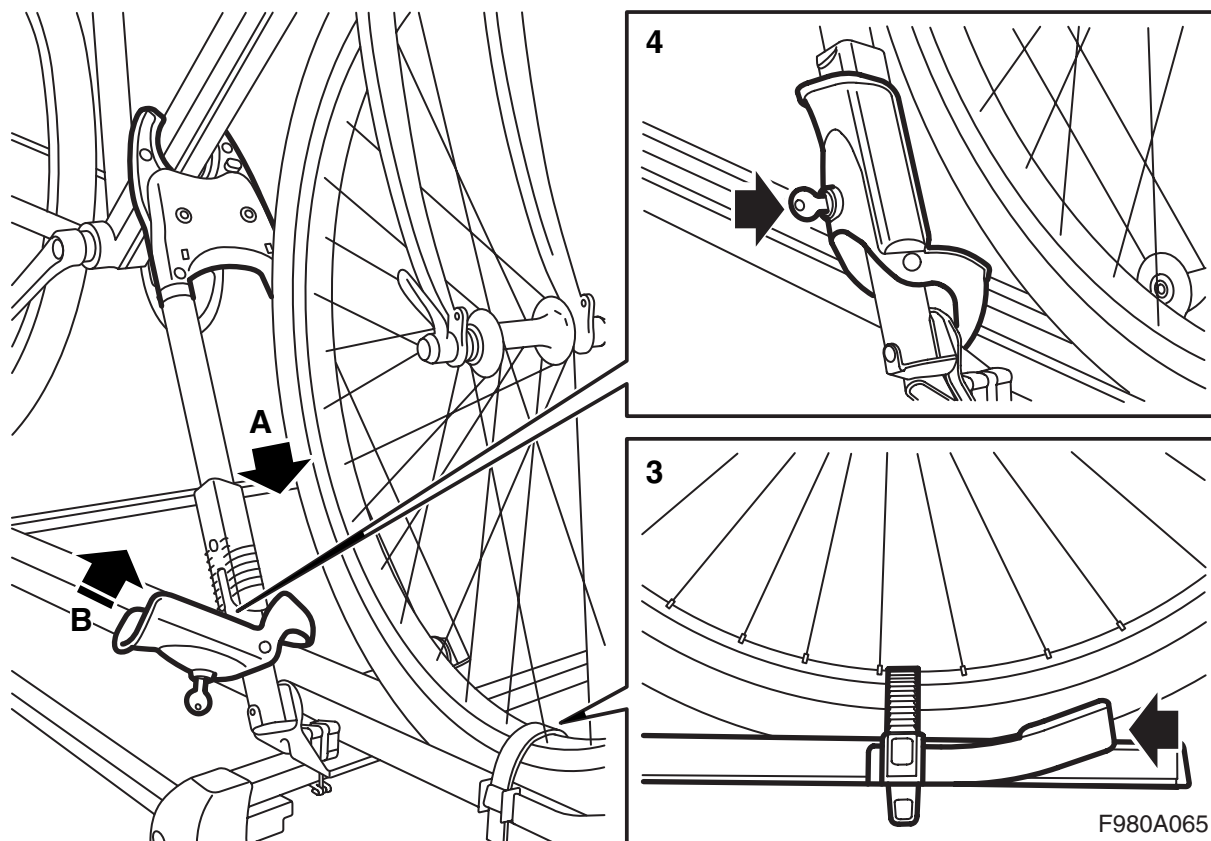
### 警告

サイクルキャリアが、確実に固定されていることを確認する。

**輸送安全対策：** 自転車を取り付けていない場合には、リアホイールホルダーを前方にスライドしてフレーム保持爪に被せる。ストラップを締め付ける。

## 重要事項

片方のフロントクランプハンドルを下に倒せるようにするためには、フレーム保持爪のロックハンドルが開位置になっていなければならない。



## 自転車の取り付け

- 1 自転車を持ち上げてレール内に入れ、自転車のフレームに向けてフレームホルダーを起す。フレーム保持爪がフレームを挟み付けるようにハンドル (A) を押し下げることにより、フレーム保持爪をフレームサイズに合わせて調整する。

次にロックハンドル (B) を起こすことにより、フレームはしっかりロックされる。

## 注記

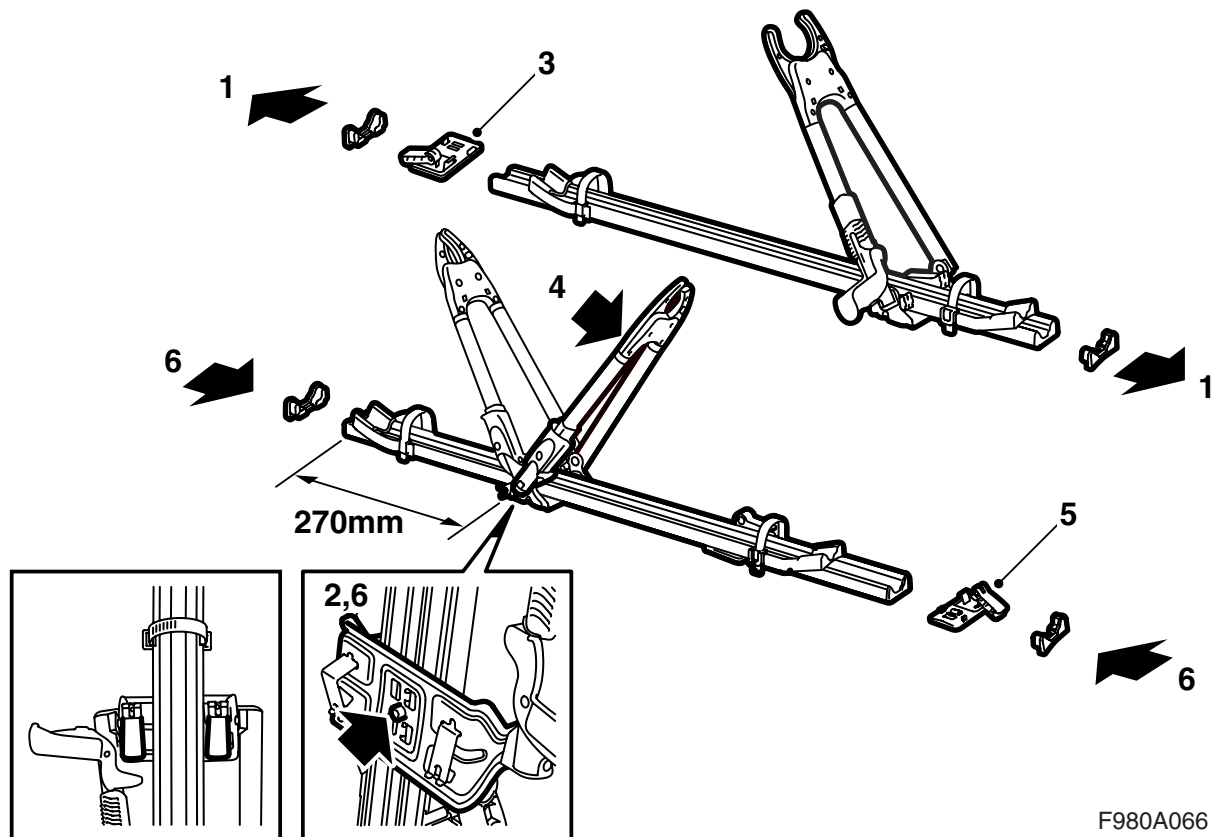
フレームサイズの異なる自転車の積載時も、調整が自動的に行われるため、フレーム保持爪の調整の変更は必要ない。

- 2 ロックハンドル (B) を起こす。
- 3 各ホイールホルダーをスライドさせて車輪に寄せ、各ストラップでしっかり締結する。

### ⚠ 警告

自転車が確実にしっかり固定されていることを確認する。

- 4 積載時には (自転車が取り付けられていない場合でも)、必ずキーで施錠し、サイクルキャリアがルーフレールにロックされているようにしておくこと。



F980A066

### 錠を左側とした左側取り付け

- 1 各エンドプラグを外す。
- 2 フロントアンカープレートの下側を六角棒レンチ (M6) を使って数回転緩めて外す。
- 3 リアアンカープレートをスライドさせてレールから押し出す。
- 4 フレームホルダーアームを逆方向に倒すと同時に、フロントアンカープレートを後方にスライドさせる。
- 5 前後の向きを変えぬようにして、リアアンカープレートを抜き取ったのとは反対側からレールに挿入する。
- 6 各エンドプラグを取り付け、六角棒レンチを使ってレールのフロントエッジから約 270 mm の箇所にフロントアンカープレートの下側をしっかりとねじ止めする。

**輸送安全対策：** 自転車を取り付けていない場合には、リアホイールホルダーを前方にスライドしてフレーム保持爪に被せる。ストラップを締め付ける。